

平成 29 年 7 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 小林 茂  
(コード：4583 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦  
(TEL. 03-6383-3746)

## ヒト化 DLK-1 抗体に関する中国特許付与決定についてのお知らせ

本日、当社で開発を進めている DLK-1 抗体に関する特許について、中国における特許付与の決定通知を受領いたしましたので、お知らせいたします。

本特許はヒト DLK-1 を標的としたヒト化モノクローナル抗体に関するものです。本特許は LIV-1205 に関連する特許であり、現在、欧州を含む各国に特許出願中であり、これまで米国で特許が成立しております。

本特許に関する抗体は、2017 年 6 月 26 日開示の「がん治療用抗体 LIV-1205 及び LIV-2008b のオプションライセンス契約についてのお知らせ」にてお知らせしました通り、ADC Therapeutics 社（本社、イパリンジェス、スイス、以下、ADCT 社）とライセンス契約を締結することになっております。今回の特許付与決定は ADCT 社での LIV-1205 の ADC 用途での開発、及び当社での開発及び導出活動を支える知財基盤を強化するものであると考えております。

【発明の名称】 ANTI-HDLK-1 ANTIBODY HAVING ANTITUMOR ACTIVITY IN VIVO  
【特許出願番号】 201380051895.5  
【特許権者】 株式会社リブテック（株式会社カイオム・バイオサイエンスが承継しています。）

### <LIV-1205 について>

LIV-1205 は、肝臓がんを中心とする固形がんの細胞表面に発現している抗原（標的分子）「DLK-1 (Delta-like homolog-1)」に結合し、がんの増殖活性を阻害するヒト化モノクローナル抗体です。DLK-1 は幹細胞や前駆細胞といった未熟な細胞の増殖、分化を制御すると考えられており、肝臓がんの細胞表面に発現し、その増殖に関与していることが発見された、新しいがん治療の標的になりうる可能性がある分子です。

本件が平成 29 年 12 月期業績に与える影響は軽微であります。

以 上